

令和元年度 宜野湾市立小中学校の学校関係者評価

別添資料

◎評定は、(A:十分達成できた。B:ほぼ達成できた。C:あまり達成できなかった。D:達成できなかった。)とする。 学校名: はごろも小学校

	学校関係者評価の項目	評定 評議員等	評定についての学校関係者評価者からの理由説明	今後に向けての学校への提言
学校教育全般	1 県・中頭の教育施策や宜野湾市主要施策が学校教育の中に位置づけられている。(学力向上、不登校対策、家庭学習への取り組み)	A	全国学力調査の数値で理解できる。不登校生徒数が減少している。	学校訪問(小学校⇒中学校)を増やす。
	2 教職員は一人一人の児童生徒への声掛けを大切にしており、児童生徒との信頼関係も構築されている。	A	授業に参観して、先生方が生徒の質問に対して丁寧に答えていた。	学級経営力の学級間差を解消させる。
	3 新三学期制の趣旨を活かし、教育活動の充実に取り組んでいる。	A	11月の運動会、熱中症で倒れる生徒がいなかった。6月の音楽発表会も適時であった。	今年度の取組の継続を図る。
学習指導	4 「わかる授業」構築のため、各教科・領域で具体的な実践及び指導法の工夫・改善が図られている。	A	全教員が研修を積極的に受け、それを授業に生かしている。単元ごとに生徒の質問を多くしている。	今年度の取組の継続を図る。
	5 教育効果を高めるため、地域人材、情報機器・視聴覚教材等を積極的に活用している。	A	地域のボランティアの方による読み聞かせも盛んで、児童の読書への興味が上がっている。	今年度の取組の継続を図る。
	6 授業の理解を深める家庭学習に学校全体で取り組んでいる。(授業との連動)	A	一日の授業の理解度チェックの為、宿題を出しそれを細かくチェックしている。	今年度の取組の継続を図る。
生徒指導	7 全校指導体制で不登校や課題のある児童生徒への支援が図られている。(具体的行動、情報の共有、関係機関との連携等)	B	生徒指導担当の先生が対象者とその保護者と連絡を取り、両者ともに支援をしている。	ベクトルをひとつにした、学年・学級経営の充実に図る。
	8 いじめ防止基本方針が示され、いじめ問題へ組織的な対応が図られている。	B	いじめの未然防止に努め、児童へのアンケート調査を実施している。いじめが発覚したら保護者に伝え、急いで対応している。	より具体的なアドバイスや対策を図る。
進路指導	9 発達段階に応じた職場見学・体験等を取り入れ、子どもの夢や希望を育む指導を行っている。	A	大人や現役の学生などから直接話を聞ける機会があり、良かった。マサマジックのマサさんを学校に招いて、夢実現のマジックを披露していた。	次年度は、学校経営計画に位置付けて、実施する。
安全管理	10 危機管理マニュアル、安全マップ等を活用して、安全・安心な学校づくりを推進している。	A	11月の避難訓練実施、セーフティーンハロウィンをPTAで実施をし、110番の家を確認した。	保護者と連携し、安全マップの更新を図る。
	11 学校の施設設備が安全で、よりよく活用できるよう、安全点検が定期的に行われ、その対策が講じられている。	B	パソコン室の仕様が不明確であった。(上履きは脱がないことが、徹底されていなかった。)	パソコン教室の利用の仕方について、共通確認を図る。
保健管理	12 学校保健委員会を開催し、学校・地域が連携した健康教育を推進している。	A	早寝早起き、朝ご飯など家庭での生活習慣励行をし、よい体調で登校させるよう保護者に呼び掛けている。	今年度の取組の継続を図る。
	13 食育の全体計画が作成され、栄養教諭・栄養士による指導を計画的に実践している。	A	低学年、中学年、高学年と発達段階に応じた食育指導がなされている。	栄養教諭とのTT授業の充実に努める。
特支	14 特別支援教育計画、個別の支援計画に基づき、学校の支援・指導体制の工夫・改善に取り組んでいる。	A	担任の先生が、絵を用いて丁寧に指導したり、優しく寄り添う姿をよく目にする。	個別の支援計画の形式を県の基準に合わせた作成を図る。
組織運営	15 校務分掌(役割分担)の明確な運営・責任体制が整備され、機能している。	A	校長、教頭が丁寧な言葉遣いをして他の先生方とコミュニケーションを取り、連携が取れていた。	今年度の取組の継続を図る。
	16 管理職・各主任は、リーダーシップを発揮し、課題解決に向けた学校運営を行っている。	A	運動会は、校長、教頭が先頭に立ち他の先生方と常に連携が取れ、地域の方や保護者に大きな感動を与えていた。	更なるチームワークを目指す。
研修	17 指導法の工夫・改善や学力向上を図る研修が行われ、実践的な指導力の向上を図っている。	A	全先生方が、研修を受け、公開授業も積極的に行っている。	OJTのさらなる推進を図る。
	18 教育課程特例校制度(英語教育)推進のための研修が行われ、実践的な指導力の向上を図っている。	A	優秀な外国人教師を採用して、絵を見せて生の英語を話したり、聞いたりした授業が行われていた。	大山小に配属されているアドバイザーの更なる活用を図りたい。
家庭・地域との連携	19 家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進め、開かれた学校づくりに努めている。	A	生徒が地域行事に積極的に参加をし、伝統芸能を身につけている。	地域行事への積極的な参加を図る。
	20 あいさつ、時間を守る等の凡事を学校・家庭・地域で連携・協力しながら取り組んでいる。	A	登下校時に、進んで挨拶ができる児童が増えている。	今年度の取組の継続を図る。